



図書館だより

2020/10/01 発行 大阪府立寝屋川高校図書館



☆読書週間にむけての 特別貸出 について

10月1日(木)より読書週間にむけての特別貸出を行います。
読書の秋を楽しみましょう。

貸出冊数制限なし！ 読みたいだけどうぞ

読みたい本や前から気になっていた本は **お早めに** お求めください。

今、借りている本で、続けて借りたいと思うものがあれば、再度貸出手続きをしてください。
返却期限を過ぎて延滞図書請求書もらった人は必ず、返却をするか、貸出手続きをしない。

早めに借りておきたいけれど……試験中に借りると気になって勉強が手に付かない!!

という人のためには、カウンターで「**おとりおき**」をいたします。

おとりおきした本は、試験最終日(10月9日)に、貸出手続きに来てください。この日を過ぎると書架にもどります。他の方が借りるということもありますので、ご注意ください。

☆「1000ページ読書マラソン」のご案内

期間中にどれだけ読んだかを「ページ数」ではかるマラソンです。

10月1日(木)より受付を開始します。参加しようと思う人は図書館に来てください。

エントリーされる方に記録用の「読書カード」をお渡しします。

「**ミニマラソン部門**」… 寝屋川高校図書館の本 を1冊、

「**ハーフマラソン部門**」… 寝屋川高校図書館の本 を500ページ以上、で完走です。

この2部門はたくさん読むのは難しい…けど、本を読むのは好きというあなたにおすすめです。

「**フルマラソン部門**」… お手持ちの本、友だちや近所の公共図書館から借りた本など、読む本はどんな本でもかまいません。(ただし、絵本、マンガ、雑誌、教科書はカウントできません。)

寝屋川高校図書館から借りた本なら100ページ、「寝屋川高校の100冊」なら200ページが加算されます。1000ページ以上で完走です。

各部門の決定は「読書カード」提出時でOK！ 完走された方には景品があります。

さらに、「フルマラソン部門」で、読んだページ数が特に多かった方には、図書カードや図書館に掲示してあったポスターなどの景品を考えています。
この機会にたくさん本を読んでください。

エントリーされた方には、千ロルチョコ風マグネットをプレゼント！

「読書カード」の提出締め切りなど、詳細は掲示されるポスター等をご覧ください。
たくさんの方の参加をお待ちしています。



☆新着図書のご案内

＊ ＊ ほかにもあります。図書館で見てください。 ＊ ＊

一人で思う、二人で語る、みんなで考える：実践！ロジコミ・メソッド 岩波ジュニア新書
複雑な課題に直面した時、みんなでアイデアを出し合い、よりよい解決策を探っていくことが求められている。自情報整理、グループワーク、プレゼンなど、すぐに役立つアクティブ・ラーニングの技術をわかりやすく解説。

景観からよむ日本の歴史 金田章裕 著 岩波新書新赤版 私たちが日ごろ何気なく目にする景観には、幾層にも歴史が積み重なっている。古都京都の変遷、古代の地域開発、中世の荘園支配、近世の城下町形成など各地の事例をよみとくその手法は、町歩きや旅の散策にも最適。

ワイルドサイドをほつき歩け：ハマータウンのおっさんたち ブレイディみかこ 著
EJ離脱、競争激化社会、緊縮財政などの大問題に立ち上がり、人生という長い旅路に行く中高年への祝福に満ちたエッセイ21編。

コロナ後の世界を生きる：私たちの提言 村上陽一郎 編 岩波新書新赤版
新型コロナのパンデミックをうけて、私たちはどのような時代に入るとするのか。コロナ後の世界を生き抜くための指針を、各界の第一人者24名が提言する緊急出版。

覚えておきたい総理の顔：歴代総理のガイドブック 本間康司 著 歴代の総理大臣をすべて似顔絵にして、数々の名語録や横顔、その時代の印象に残った出来事などをまとめて紹介する。

湯川秀樹の戦争と平和：ノーベル賞科学者が遺した希望 小沼通二 著 岩波ブックレット
日本初のノーベル賞受賞者は、第二次世界大戦中に軍事研究にも携わったが、基礎研究を中断することはなかった。遺された日記や文章から、湯川の取り組みや思想を追ひ、コロナ禍や気候危機、少子高齢社会下の我々のあり方を考える。新資料、未公開写真多数。

過労死しない働き方：働くリアルを考える 川人博 著 岩波ジュニア新書
IT化、グローバル化、少子化等によって労働強化が進む中、中高年だけでなく若い世代にも過労死や過労自殺に追い込まれる人が増えている。どうしたらこの現状を変えていけるのか。

できちゃいました！フツの学校 富士晴英とゆかいな仲間たち 著 岩波ジュニア新書
生徒の自己肯定感を高め、一人一人が主体的に学ぶことができる場はどうすればできるのだろうか？

フィンランドの教育はなぜ世界一なのか 岩竹美加子 著 新潮新書
人口約550万人、小国ながらもPISA（15歳児童の学習到達度国際比較）で、多分野において一位を獲得、近年は幸福度も世界一となったフィンランド。その教育を我が子に受けさせてみると、入学式も、運動会も、テストも、制服も、部活も、偏差値もなかった。

超ひも理論をパパに習ってみた：天才物理学者・浪速阪教授の70分講義 橋本幸士 著
平凡な女子高生・美咲のパパは、なんと超ひも理論が専門の天才物理学者（そして関西人）。嬉々として最先端の素粒子物理学を語りだすパパに、美咲は初めはヘキエキするが…

タコの知性：その感覚と思考 池田譲 著 朝日新書
地球上で最も賢い生物である「タコ」。大きな脳と8本の腕の「触覚」を通して、様々な知的能力を駆使するタコの「かしこさ」に迫る。

君に読ませたいミステリがあるんだ 東川篤哉 著 美人文芸部長がたくらむ大仕掛けを見抜けるか！？『放課後はミステリーとともに』の鯉ヶ窪学園に新作誕生！

一人称単数 村上春樹 著
「一人称単数」とは世界のひとかけらを切り取る「単眼」のことだ。しかしその切り口が増えていけばいくほど、「単眼」はぎりなく絡み合った「複眼」となる。そしてそこでは、私はもう私でなくなり、僕はもう僕でなくなっていく。そこで何が起こり、何が起こらなかったのか？

スフィンクスか、ロボットか レーナ・クルーン 著 「はじめて出逢う世界のおはなしフィンランド編」身のまわりに起こりうる断片的な出来事を、子どもの純粋で明晰な視点を通し、存在することの可能性や意味を問いかける、フィンランドの作家レーナ・クルーン初邦訳。

読書はあとから効いてくる!!～たくさん本を読もう～